

項目	基準																
配置 □変更あり	<input type="checkbox"/> 眺望地点 からの眺望への見通しを阻害しないように見通し線を確認し、これを避ける配置とする。 <input type="checkbox"/> 周辺の地形やまち並みなどの景観の基調を確認し、目立った印象とならないような配置とする。 <input type="checkbox"/> 道路等公共施設に面する壁面などは後退し、修景空間や公開空地的な空間、隠蔽植栽のための空間を確保する。																
形態 □変更あり	<input type="checkbox"/> 形態は、周辺の地形やまち並みなどと調和し、目立った印象とならないようにする。 <input type="checkbox"/> 屋根は、周辺の地形やまち並みなど景観の基調を確認し、これと調和する形状とする。																
壁面デザイン □変更あり	<input type="checkbox"/> 周辺景観の基調（水平・垂直基調、陰影、スケールなど）を確認し、これと調和する壁面デザインとする。 <input type="checkbox"/> 単調な大壁面とならないようにする。 <input type="checkbox"/> 壁面や屋上の緑化に努める。 <input type="checkbox"/> 外観あるいは外構の一部に、三島の個性を感じさせる素材を活用する。																
色彩 □変更あり ※特定届出行為	<input type="checkbox"/> 建築物の外観の基調色は、周辺のまち並みや建築物等と調和した色彩とする。 日本工業規格 Z8721〔色の表示方法－三属性による表示〕（以下、マンセル値と呼ぶ。）において、以下のとおりとすること。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>色相</th><th>彩度</th><th>明度</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0 R（10 R P）～5 R</td><td>4 以下 □</td><td rowspan="6">2 以上 □</td></tr> <tr> <td>5 R～10 R</td><td>5 以下 □</td></tr> <tr> <td>0 Y R（10 R）～10 Y R</td><td>6 以下 □</td></tr> <tr> <td>0 Y（10 Y R）～5 Y</td><td>5 以下 □</td></tr> <tr> <td>5 Y～10 Y</td><td>4 以下 □</td></tr> <tr> <td>その他</td><td>3 以下 □</td></tr> </tbody> </table> <p>・ただし、建築物で着色していない木材、土壁、ガラス等の材料によって仕上げられる部分及び見付面積の5分の1未満の範囲の部分の色彩については、この限りではない。</p>	色相	彩度	明度	0 R（10 R P）～5 R	4 以下 □	2 以上 □	5 R～10 R	5 以下 □	0 Y R（10 R）～10 Y R	6 以下 □	0 Y（10 Y R）～5 Y	5 以下 □	5 Y～10 Y	4 以下 □	その他	3 以下 □
色相	彩度	明度															
0 R（10 R P）～5 R	4 以下 □	2 以上 □															
5 R～10 R	5 以下 □																
0 Y R（10 R）～10 Y R	6 以下 □																
0 Y（10 Y R）～5 Y	5 以下 □																
5 Y～10 Y	4 以下 □																
その他	3 以下 □																
付帯設備 □変更あり	<input type="checkbox"/> 屋外階段は、建物本体と一体的、あるいは調和したデザインとする。 <input type="checkbox"/> 屋上に設ける設備は、外部から見えにくくなるよう設置する、あるいは壁面の立ち上げやルーバー等により隠すようにする。 <input type="checkbox"/> 外壁の設備配管や設備機器は、外部から見えにくくなるよう設置する、あるいは建物本体と一体的、もしくは調和したデザインとする。																
道路に面した空地 □変更あり	<input type="checkbox"/> 前面道路等に面した壁面後退部分の空地は、歩道や広場として解放する、あるいは緑化等により修景する。																
外柵・塀・門柱・門扉 □変更あり	<input type="checkbox"/> 建物本体や周辺のまち並みと調和し、圧迫感のないものとする。 <input type="checkbox"/> 公開空地への立入を妨げず、透過性のあるものとする。																

項目	基準
植栽 ※努力事項 <input type="checkbox"/> 変更あり	<input type="checkbox"/> 敷地内の既存樹木は極力保全し、修景に活かす。 <input type="checkbox"/> 敷地内のオープンスペースの緑化に努める。 <input type="checkbox"/> 周辺植生に調和する樹種を選択する。 <input type="checkbox"/> 敷地入り口周辺、建物までのアプローチ通路沿いなどは、花壇やプランターボックス等により演出する。
駐車場等 <input type="checkbox"/> 変更あり	<input type="checkbox"/> 駐車場や駐輪場は、うるおいある空間となるように、緑化や舗装デザインに配慮するとともに、必要に応じて道路等から見えにくくなるようにする。
付属施設 <input type="checkbox"/> 変更あり	<input type="checkbox"/> 機械式駐車場は、建物本体と一体的、あるいは調和したデザインとする。 <input type="checkbox"/> 電気室、機械室、トイレ、ゴミ置場等は、目立たない位置に配置するとともに、建物本体や周辺景観と調和するデザインとする。 <input type="checkbox"/> 施設の周囲に、目隠しや防音のための植栽等を施す。
建築物等に付帯する広告物及び同敷地内の広告物 <input type="checkbox"/> 変更あり	<input type="checkbox"/> 広告物は、自家広告のみとする。 <input type="checkbox"/> 屋上看板・突出看板は建築物等と一体化を図り、看板部分の面積は最小限に留める。 <input type="checkbox"/> 広告塔などの独立看板を設置する場合は、集約化、小面積化、デザインの高質化、建物本体との調和など、周辺の景観を損なわないようにする。 <input type="checkbox"/> 看板の地色には、高彩度色や蛍光色の使用をできるだけ避ける。

夜間において公衆の観覧に供するため、一定の期間継続して建築物その他の工作物又は物件の外観について行う照明

基準 <input type="checkbox"/> 変更あり
<input type="checkbox"/> 地域の夜間景観を損なう、過度の明るさや色彩の照明を用いないこと。 <input type="checkbox"/> 特定の対象物を照射するものとし、光源を空、道路、鉄道など公共空間に向けての照射を避けるとともに、光源等カバーやルーバーを設置する等により、周辺や上空へ光が漏れるのを防止すること。

景観形成基準チェック表（変更届用）

工作物の新築、増築、改築又は移転用

* 眺望地点：景観計画 6-2）参照

項目	基準																
立地 □変更あり	□眺望地点* からの眺望への見通しを阻害しないように見通し線を確認し、これを避ける立地とする。																
配置 □変更あり	□眺望地点* からの眺望への見通しを阻害しないように見通し線を確認し、これを避ける配置とする。 □周辺の地形やまち並みなどの景観の基調を確認し、目立った印象とならないような配置とする。 □道路等公共施設に面する壁面などは後退し、修景空間や公開空地的な空間、隠蔽植栽のための空間を確保する。																
形態 □変更あり	□形態は、周辺の地形やまち並みなどと調和し、目立った印象とならないようにする。																
色彩 □変更あり	□工作物の外観の基調色は、周辺のまち並みや建築物等と調和した色彩とする。 日本工業規格 Z8721〔色の表示方法－三属性による表示〕（以下、マンセル値と呼ぶ。）において、以下のとおりとすること。 <table><tr><th>色相</th><th>彩度</th><th>明度</th></tr><tr><td>0 R（1 0 R P）～5 R</td><td>4 以下 □</td><td rowspan="6">2 以上 □</td></tr><tr><td>5 R～1 0 R</td><td>5 以下 □</td></tr><tr><td>0 Y R（1 0 R）～1 0 Y R</td><td>6 以下 □</td></tr><tr><td>0 Y（1 0 Y R）～5 Y</td><td>5 以下 □</td></tr><tr><td>5 Y～1 0 Y</td><td>4 以下 □</td></tr><tr><td>その他</td><td>3 以下 □</td></tr></table> □ただし、工作物で着色していない木材、土壁、ガラス等の材料によって仕上げられる部分及び見付面積の 5 分の 1 未満の範囲の部分の色彩については、この限りではない。	色相	彩度	明度	0 R（1 0 R P）～5 R	4 以下 □	2 以上 □	5 R～1 0 R	5 以下 □	0 Y R（1 0 R）～1 0 Y R	6 以下 □	0 Y（1 0 Y R）～5 Y	5 以下 □	5 Y～1 0 Y	4 以下 □	その他	3 以下 □
色相	彩度	明度															
0 R（1 0 R P）～5 R	4 以下 □	2 以上 □															
5 R～1 0 R	5 以下 □																
0 Y R（1 0 R）～1 0 Y R	6 以下 □																
0 Y（1 0 Y R）～5 Y	5 以下 □																
5 Y～1 0 Y	4 以下 □																
その他	3 以下 □																
道路に面した空地 □変更あり	□前面道路等に面した後退部分の空地は、圧迫感を軽減するために植栽により修景する。																
植栽 □変更あり	□敷地内の既存樹木は極力保全し、修景に活かす。 □敷地内のオープンスペースの緑化に努める。 □周辺植生に調和する樹種を選択する。																
工作物に付帯する広告物 □変更あり	□広告物は、自家広告物のみとする。 □看板部分の面積は最小限に留める。 □看板の地色には、高彩度色や蛍光色の使用をできるだけ避ける。																

夜間において公衆の観覧に供するため、一定の期間継続して建築物その他の工作物又は物件の外観について行う照明

基 準	□変更あり
<p>□地域の夜間景観を損なう、過度の明るさや色彩の照明を用いないこと。</p> <p>□特定の対象物を照射するものとし、光源を空、道路、鉄道など公共空間に向けての照射を避けるとともに、光源等カバーやルーバーを設置する等により、周辺や上空へ光が漏れるのを防止すること。</p>	